

# 長崎市小学生バレーボール連盟公式大会での 新型コロナウイルス感染症・熱中症対策に関する確認事項

令和4年7月14日通知  
長崎市小学生バレーボール連盟  
理事長 有田 太二

長崎市小学生バレーボール連盟（以下、長崎市小連）は、新型コロナウイルス感染症及び熱中症対策として下記のとおり措置を講じ、本大会を運営いたします。なお、本対策は、長崎県小学生バレーボール連盟の「令和4年度 全日本バレーボール小学生大会長崎県大会新型コロナウイルス感染症及び熱中症 対応マニュアル」に準じて、「長崎市小学生バレーボール連盟公式大会での新型コロナウイルス感染症・熱中症対策に関する確認事項」を改訂して作成しております。

各チーム及び大会関係者の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

## 記

- 大会の開催を中止または延期する場合は、長崎県教育委員会及び長崎市教育委員会からの諸通知をもとに判断し決定する。
- チーム関係者（選手・保護者・ベンチスタッフ）が会場に入場できない場合は次のとおりとする。
  - 本人が感染している場合
  - 本人が保健所や医師の勧めでPCR検査等を受け、判定待ちの場合
  - 本人が濃厚接触者の場合
  - 本人の同居家族がコロナ関連の検査で陽性判定が出た場合、または、病名が特定できない発熱が出た場合（医師の診断を受けていない場合）
  - 本人が所属する学級が学級閉鎖や、学校が臨時休業になった場合
  - 学校長から大会出場自粛の要請があった場合
- 感染症関連の報告について  
チーム関係者（選手、保護者、ベンチスタッフ、同居家族）に新型コロナウイルス感染者が出た場合は、次のような対応をとり、必ず長崎市小連に報告すること。（理事長：有田：090-7293-0634）
  - ① 感染拡大の可能性がある場合はチーム内で参加の可否を検討し、決定すること。
  - ② ①を受け、大会に出場する場合は、事前に会場に入場する全てのチーム関係者が抗原検査またはPCR検査を受け、陰性であることを確認してから出場すること。
- 開会式は実施しない。閉会式は密にならないように選手の間隔を空けて、実施する。
- 体育館内では原則として、選手、大会役員、関係者すべて、マスクを着用する。選手もフロアに降りて練習・試合をする場合以外は、マスクを着用する。
- 応援者の会場への入場可能人数を**14名**とする。（14名には、選手以外の子どもを含む。ベンチ外の選手、未就学児は含まない。）
- 大会に参加する選手及びベンチスタッフ、応援者は参加書面（R4.長崎市小連大会参加書面）を大会当日に大会本部に提出する。＊今大会よりチーム1枚に変更
- 消毒用のアルコール、ウエットティッシュなどを各チームで準備し、使い捨て手袋を使用して、消毒を行う。試合後（審判を含む）の消毒作業も各チームで責任をもって行う。ベンチは自チームで消毒。記録席、ラインズマンフラッグは副審で消毒する。

9 大会スケジュールについては以下のとおりとする。

〈大会スケジュールについて〉

\*大会スケジュールは以下を基本に行う。

\*大会や会場によって会場時刻や練習時間が変更になることがある。

開場時刻	開場時刻 開場後、準備運動、アップなどを行う。 ボールを使った練習は行わない。	
開場から 10 分後	代表者会議	ボールを使った練習は行わない。
開場から 20 分後 (10 分ごと)	第 3(2)試合のチームの練習	コートに 2 チーム入る場合は、合同でのスパイク・サーブ練習などボールの交わる練習は行わない。 空きコートがある会場では、空きコートの片面でのボールを使った練習は可とする。
	第 2(1)試合のチームの練習	
	第 1 試合のチームの練習	
チーム練習後	第 1 試合開始	

10 公式練習は、3 分別々で実施する。

11 試合に関して

○コイントス前の選手同士及び審判員とチームキャプテンの握手は行わない。試合前の挨拶は、選手はコートのエンドラインに並び、その場で挨拶をする。そのままベンチに戻る。

○試合後の相手チームへの挨拶も行わない。

○タイムアウト、セット間に副審はボールの消毒を行う。

○テクニカルタイムアウト（1・2セット：7，14 点の時／3セット：8 点のとき）実施。

**\*テクニカルタイムアウトで監督・コーチは試合に関する指示を出すことはできない。**

**選手のベンチ前の集合も不可。サブのメンバーも必ず給水を行う。**

○コート外の選手はマスクを着用する。

○コートチェンジは実施する。\*応援者は試合終了まで同じ場所で行う。

**○審判の熱中症対策のため、電子ホイッスルの使用も可とする。（笛の場合はマスク着用）**

12 次の試合の選手は、前の試合の選手・ベンチスタッフがコートを開けてからコートに入る。

13 試合後にベンチスタッフ・審判員の大人は、選手・補助員に必ず、手洗い・うがいをするように指示する。

14 試合間は換気を十分に行う。基本的にはカーテンや窓を開けて試合を行う。

15 ベンチスタッフ及び試合の補助員はマスクを着用する。但し、熱中症の危険性がある場合は外すことを認める。その際は、大会本部からアナウンスを行う。

16 記録席やベンチの椅子は、試合後に各チームが責任をもって消毒をする。

17 選手の持ち物については、各自で持って移動し、共有しないようにする。小さい袋で小分けするなどして、各チームで工夫する。

18 記録用の筆記用具は補助員各自で準備する。ラインズマンフラッグは審判を担当したチームで試合後に消毒をする。

19 応援に関して

○声を出しての応援は行わない。また、鳴り物や応援グッズを使っでの応援も行わない。  
(ベンチ外の選手、子どもを含む)

**\*ベンチ入りメンバーの声を出しての応援は可。ただしマスクは必ず着用。**

○セット間や試合間には、応援者も適宜水分補給を行う。

○体育館内ではマスクを着用する。

○応援者は、自チームの試合開始前に応援の位置に移動する。セット間での移動は行わない。